



土壌物理性改善のススメ

2018

～いまこそ空知型輪作を始めよう～

さあ、
輪作を始めよう

発行 空知農業改良普及センター

協力 農業研究本部 中央農業試験場
農業研究本部 技術普及室

発刊にあたり



空知農業改良普及センター
所長 常盤正由紀

日頃より、農業者並びに関係機関・団体の皆様には、農業改良普及事業の推進につきまして、多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

空知農業は、農業従事者の高齢化に伴う農家戸数の減少によって規模拡大が徐々に進み、①農家戸数のさらなる減少と経営規模拡大、②人口減少に伴う集落機能の低下、③規模拡大に伴う労働時間の多い高収益作物の減少、④水田転作作物の連作障害、⑤地域社会における「基幹産業としての農業」への期待感、⑥家畜が少ないことによる有機物不足などの課題も同時に抱えています。

特に近年は、台風や集中豪雨などの気象変動が増加し、透排水性不良による生育不良や冠水による低収ほ場も見受けられており、生産基盤である土壌改善の重要性を改めて認識させられています。

一方、消費者からは「安全・安心」な農畜産物への期待が高まっています。

普及センターでは、3カ年計画のもと「土壌物理性改善プロジェクト」を進めています。地域の現状を踏まえ、関係機関と連携しながら「土づくり」に関する農業者の「不安」と「疑問」を解消し、「実行しやすく」「効果が高い」技術を提案していきたいと考えています。

本指南書が、皆さまの営農にしっかりと役立ち、豊穡の秋に結び付くことをお祈り申し上げ、発刊にあたっての挨拶とさせていただきます。

CONTENTS

☆土壌物理性改善の最終目標 3

- どの作物でも多収を可能にする「汎用田」に変える

☆生産面から新規作物を導入 5

- 「乾田直播」を取り入れた輪作のススメ
- 「なたね」を取り入れた輪作のススメ
- 「とうもろこし」を取り入れた輪作のススメ
- 「休閒緑肥とうもろこし」を取り入れた輪作のススメ
- 「直播てんさい」を取り入れた輪作のススメ
- 輪作による雑草低減のススメ

☆経営面から新規作物を導入 14

- 主要作物の収益性と労働時間
- 経営規模と労働力に応じた品目構成の提案

☆空知型輪作実践者から学ぶ 17

- 実践者の経営概要・考え方
- 田畑輪換のコツ
- 輪作に必要な機械は？

☆付表 輪作作物の栽培暦 53

